

会場案内

中津川市栄町1-6-1



鉄道利用

中津川駅から徒歩約3分

Map of the area around Misato-Kashiwa Station, showing the JR Misato Line and National Route 41. The map highlights the Misato-Kashiwa Station (美濃太田駅) and the Misato-Kashiwa City Career Learning Center (美濃加茂市生涯学習センター). Other landmarks include the Misato-Kashiwa City Office (美濃加茂市役所), Misato-Kashiwa Post Office (美濃加茂郵便局), and various shops like a bank (銀行) and a food store (食料品店). The map also shows the locations of Misato-Kashiwa Station (加茂川町1) and Misato-Kashiwa Station (太田本町4).

美濃加茂市太田町3425-1



鉄道利用

美濃太田駅から徒歩約10分

テクノプラザ 本館

バス停

専用駐車場 (65台)

成長産業人材育成センター アネックス・テクノ2

予備駐車場 (86台)

建物正面の入り口から進入すると右手奥に駐車場があります。

各務原市テクノプラザ1-21 アネックス・テクノ2内



鐵道利用

JR……高山本線蘇原駅からタクシーで約5分
名鉄…各務原線三柿野駅から
タクシーで約10分

岐阜県委託事業

参加無料



岐阜県成長産業人材育成センター
411研修室
(各務原市テクノプラザ1-21 アネックス・テクノ2内)

開催趣旨

太陽光や小水力、木質バイオマスによる発電・発熱事業など、地域での再生可能エネルギーの利活用について、その重要性や地域活性化への活かし方、自治体や地域の各種団体などに求められる役割などを各地の先進事例を交えて幅広く紹介します。

対象者

- 地域の自治会等各種団体および自治体職員（地域振興・防災・環境・商工担当者など）
- 再生可能エネルギー事業やまちづくりに関心のある個人・民間企業・NPO法人・金融機関 など

日時会場

圏 域	場 所	定 員	開催日	開催時間
東 濃	中津川市にぎわいプラザ B-1ホール	70名	2019年8月30日(金)	13:30 ～ 16:30
中 濃	美濃加茂市生涯学習センター 201集会室	70名	2019年9月6日(金)	
岐 阜	岐阜県成長産業人材育成センター 411研修室	70名	2019年9月13日(金)	

開催内容

①基調講演（1時間）
【テーマ】 エネルギーの地産地消と地域づくり

開催日	講師プロフィール	概 要
【東濃圏域】 2019年8月30日(金)	 NPO法人地域再生機構 副理事長 野村 典博 氏 技術士（建設部門）として、小水力発電や木質バイオマスなど再生可能エネルギー事業を通じ、流域の保全や地域の再生に携わる。	地域社会が抱える現在の課題、人口減少や地域経済の縮小等について 再生可能エネルギー事業が持つ可能性
【岐阜圏域】 2019年9月13日(金)		
【中濃圏域】 2019年9月6日(金)	 NPO法人地域再生機構 副理事長 平野 彰秀 氏 地方のまちづくり・地域づくりを自らのライフワークとする。再生可能エネルギー導入支援のかたわら、石徹白地区及び郡上市全体の持続可能な地域づくりに携わる。	地域資源の地域における活用 地域コミュニティの活性化 地域経済における資金の循環

講師両名が所属するNPO法人地域再生機構は、地域主導での再生可能エネルギー導入のための人材育成のノウハウを持つ。2015～2017年「岐阜県実践型自然エネルギー学校（小水力発電）の開催と普及モデルづくり」を実施し、岐阜県内4ヶ所において実践経験のある人材の育成を行い、小水力発電に取り組む主体や地域を増加させ、そのノウハウを確立した。

②事例紹介

2019年8月30日(金) ●東濃圏域

事例・発表者	概 要
落合平石小水力発電所 飛鳥建設株式会社 田村 琢之 氏	大正時代に建設された農業用水路の一部を活用し、小水力発電所を設置。事業主体である民間事業者が、地域の用水路管理組合と協力して事業を実施し、老朽化した水路を改修することや、日常的な点検・清掃業務を管理組合に委託することで、事業収益の一部を地域へ還元している。年間発電量は98万kWh（一般家庭約200世帯分の年間使用量に相当）を想定。 
花白温泉 薪ボイラー 花白温泉 山口 岳志 氏	第三セクターとして20年近く営業してきた温泉施設が、時代の流れと経営者の高齢化、そして施設の老朽化によって廃館の危機に直面。経営を引き継いだ地域の若者達によって生まれ変わった。森林に囲まれた地域の特徴を活かした薪ボイラーを導入し、エネルギーの地産地消と地域活性化に取り組んでいる。 

2019年9月6日(金) ●中濃圏域

事例・発表者	概 要
郡上市自然エネルギー学校in母袋 母袋わくわく会 野田 秀幸 氏	郡上市大和町母袋地区では、自治会関係者から、再生可能エネルギーの活用を地域づくりに活かしたいという希望があり、NPO法人地域再生機構と「自然エネルギー学校」を開催した。災害時の電源確保などのため、小規模自立型の小水力発電設備の導入を目指している。地域住民自らが流量調査などを実施している。 
郡上市明宝温泉湯星館 薪ボイラー 明宝山里研究会 山中 亘 氏	旧明宝村（現郡上市）が設置した温泉施設湯星館では、薪ボイラーとチップボイラーの2種類の木質バイオマス・ボイラーを、源泉の加熱と給湯、施設の暖房などに利用している。薪ボイラーの燃料となる薪は、林地残材や間伐材などを林業者が湯星館に隣接する明宝山里研究会の集積場に持ち込み、そこで同会が薪に加工している。 

2019年9月13日(金) ●岐阜圏域

事例・発表者	概 要
DREAM★Solarぎふ太陽光発電所 大和リース株式会社 片桐 敦史 氏	岐阜市の一般廃棄物最終処分場跡地を借用し、大和リース（株）が事業主体となって太陽光発電所を設置。平成30年度の年間発電量は約297万kWh（一般家庭約820世帯の年間使用量に相当）。発電事業に加え、環境教育および災害時における非常用電源を地域に提供し、エネルギー事業の成果を地域へ還元している。 
“発電する用水路” 芥見大船 太陽光発電所 各務用水土地改良区 波能 寿子 氏	東日本大震災の翌年、土地改良区の年間使用電力約25万kWhを再生可能エネルギーで自給しようと、“日本初!!農業用水路上で太陽光発電”に挑戦した。米価が低迷し農家が減少、高齢化する中、農業水利施設の維持管理費の軽減、地球温暖化対策、また、非常時の自立発電施設や子ども達教育施設等の地域貢献として発電事業に取り組んでいる。 